

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

1 生活環境の整備

(1) 都市施設の整備

1. 市有建築物等のバリアフリー化の推進

実施内容	担当課室	平成30年度 実施状況
① 市有建築物・道路・公園等について、さらなるバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進します。	建築室	●実績なし
	道路管理室	●実績なし
	道路整備室	●実績なし
	公園緑地室	●公園内の段差解消、階段の補修等を実施
② 当事者からのバリアフリー等の改善要望を、改修等に反映させる仕組みづくりを進めます。	建築室	●実績なし
達成状況		
○	公園のバリアフリー化を実施した。	

2. 「福祉のまち整備に関する事項」に適合した民間施設の整備誘導

実施内容	担当課室	平成30年度 実施状況
① 一定規模以上の特殊建築物の新築・増築及び用途変更時に、バリアフリー法及び大阪府福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー化に関する誘導及び指導を事前協議において実施します。	審査指導室	●事前協議にて働きかけを実施 ・事前協議5件
② 既存民間建築物のバリアフリー化の推進について、様々な機会を通して啓発を行います。	審査指導室	●実績なし
達成状況		
△	条例に基づき、民間施設の整備誘導を行ったが、バリアフリー化に向けた啓発方法については検討が必要。	

(2) 移動支援の充実

1. 新駅におけるバリアフリー等に配慮した整備の推進

実施内容	担当課室	平成30年度 実施状況
北大阪急行線延伸による新駅において、鉄道事業者と協力し、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した整備を進めます。	鉄道延伸室	●新駅において、鉄道事業者と協力し、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した設計を実施
達成状況		
○	北大阪急行延伸による新駅において、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した設計を実施した。	

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

2. バリアフリー交通網の整備

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
① 公共交通機関の利用が困難な対象とした福祉有償運送であるオレンジゆずるタクシーについて、これまでの運行をふまえ、サービスの向上に努めます。	健康福祉政策室	●持続可能な福祉デマンド輸送の確立に向け、今までの運行をふまえ、次年度以降の姿を検討
② オレンジゆずるバス(ノンステップバス導入率100%)の本格運行の継続的な運行により、市内移動の充実を進めます。	交通政策室	●本格運行を継続実施
③ 路線バス事業者に対し、主体的なノンステップバスの導入を働きかけます。	交通政策室	●ノンステップバス ・導入台数 1 台
④ 北大阪急行線延伸に伴うバス路線網再編の検討の中で、さらなる市内移動の充実をめざします。	交通政策室	●ノンステップバス(オレンジゆずるバスの導入台数 100%および路線バスの平成 30 年度末導入台数 1 台)によるバリアフリー交通網を整備
達成状況		
△		ノンステップバスの導入等により、バリアフリー交通網の整備が進んだが、持続可能な福祉デマンド輸送についてはさらなる検討が必要。

3. 移動しやすい歩道の整備促進

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
① 市内各所に残る歩道段差(傾斜・勾配等の改善を含む。)について整備を実施し、整備率100%をめざします。	道路管理室	●歩道段差の改良(交通安全施設整備事業) ・対象箇所数 1,820 箇所 ・平成 30 年度整備 0 箇所 (上記対象箇所以外も含む) ・平成 31 年 4 月 1 日現在 ・対象箇所整備率 90% ・1,639 箇所完了
② 道路に関する要望は、記録と優先順位づけを行い、計画的に改修を進めます。	道路管理室	●実績なし
達成状況		
△		歩道段差整備率 100%に向けて計画的な改修が必要。

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

(3) 住宅の確保

1. 公的住宅の活用の推進

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
① 市営住宅の1階に空家が生じた際、障害者・高齢者向け住戸へのバリアフリー改修を推進します。	営繕課	●改修実績 0 件
② 市営住宅の空家募集において、倍率優遇の実施により、優先的に供給します。	営繕課	●空家募集実績 0 件
達成状況		
△	公営住宅のバリアフリー改修を推進することが必要。	

2. 民間住宅の活用の推進

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
① 民間住宅等について、「箕面市重度障害者住宅改造助成事業」の実施や、「大阪府住宅リフォームマイスター制度」の周知により、バリアフリー化を支援します。	営繕課	●「大阪府住宅リフォームマイスター制度」について、PRを実施
	障害福祉室	●箕面市重度障害者住宅改造助成事業 1 件
② 「大阪あんしん賃貸支援事業」や「家賃債務保証制度」等について、不動産事業者や賃貸住宅所有者等に対する周知を行います。	営繕課	●「大阪あんしん賃貸支援事業」や「家賃債務保証制度」等について、PRを実施
③ 障害者の相談支援事業において住宅入居支援を行い、民間賃貸住宅への円滑な入居を支援します。	地域包括ケア室	●地域生活支援事業の相談支援事業において住宅入居等支援事業を実施 ・実利用人数 2 人
達成状況		
○	民間住宅等のバリアフリー化を推進した。 相談支援事業において、住宅入居支援等を実施し、入居に結びついた。	

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

(4) 情報バリアフリーの推進

1. 点字・音声・手話等による行政情報の充実

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
① 個人宛通知文を点字化し、希望者に送付します。	介護・医療・年金室	●個人宛通知文を点字化し、希望者に送付 延べ送付通数 29 通
	国民健康保険室	●個人宛通知文を点字化し、希望者に送付 延べ送付通数 2 通
	障害福祉室	●個人宛通知文を点字化し、希望者に送付 延べ送付通数 13 通
② 市広報紙、市議会だより、選挙公報、けんしんガイドブックなど、全戸配布物の点字版・音声版を発行し、希望者が利用できるようにします。	箕面広報室	●市広報紙、市民ガイドの点字版・音声版(テープ・CD)を発行
	議会事務局総務室	●市議会だよりの点字版・音声版(テープ・CD)を発行
	地域保健室	●けんしんガイドブックの点字版を発行
	選挙管理委員会事務局	●平成 30 年度は選挙なし
③ 拡大文字などの新たなニーズや、市発行物等における色覚特性の対応策を検討します。	障害福祉室	●実績なし
④ 手話通訳や要約筆記により、市主催行事における情報保障の充実を進めます。	障害福祉室	●市主催行事において、手話通訳や要約筆記を派遣した。(派遣件数 16 件)
達成状況		
△		個人宛通知文や市発行物等の点訳、音訳を行った。 市主催行事における手話通訳や要約筆記の派遣を行った。 拡大文字などの新たなニーズへの対応が必要。

2. 障害者が情報を入手しやすいホームページの作成

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
① バリアフリーやアクセシビリティに対応した表記や色使いに努めるなど、障害者が利用しやすいホームページを作成します。	箕面広報室	●バリアフリーやアクセシビリティに対応した表記や色使いに努めるなど、障害者が利用しやすいホームページの作成を実施
② html 版・テキスト版・読み上げ対応PDF 版・音声版など、視覚障害者が利用しやすい形態で、行政情報をホームページに掲載します。	箕面広報室	●広報紙のテキスト版・音声版を市ホームページに掲載
達成状況		
○		バリアフリーやアクセシビリティに対応したホームページを作成し、視覚障害者等が容易に行政情報を入手できる環境づくりを進めた。

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

3. 図書館サービスの利用支援

実施内容	担当課室	平成30年度 実施状況
① 点字図書の提供を進めます。	中央図書館	●点字コーナーで、広報誌などの点字図書を提供
② 録音図書の作成と提供を進めます。	中央図書館	●録音図書の作成 所蔵数 909 タイトル ●録音図書の貸出し 貸出件数 404 件
③ 音訳ボランティアや対面朗読ボランティアの活動を支援します。	中央図書館	●対面朗読サービスの実施 145 回 ●地域資料の音訳を実施
④ 「声と点字の読書情報」の発行等により、点字・録音図書や新刊図書などの情報提供に努めます。	中央図書館	●「声と点字の読書情報」点字版・音声版(テープ・デージー)を発行 図書の郵送サービス 4 件
達成状況		
○		点字図書や録音図書の提供等により、障害者の図書館利用を推進した。

4. 意思疎通支援の実施

実施内容	担当課室	平成30年度 実施状況
① 手話通訳者・要約筆記者の派遣・養成、並びに聴覚障害者に対する緊急時の支援を進めます。	障害福祉室	●コミュニケーション支援事業による派遣 手話通訳者 73 件 要約筆記者 22 件 ●登録者の養成研修を実施 手話通訳技能研修(全6回) 要約筆記技能研修(全4回) ●ファクス及び電子メールによる緊急通報システムを運用 利用登録者 32 人
② 手話通訳者・要約筆記者の派遣に関し、府や他市町村との連携を進めます。	障害福祉室	●大阪府市町村聴覚障害者担当職員等連絡協議会へ参加 全5回
③ 市の手話通訳業務員が、総合保健福祉センター窓口等で、手話通訳を行います。	障害福祉室	●市立総合保健福祉センターに手話通訳者(非常勤職員)を配置 2 人
④ 事前申込により、市議会本会議や委員会の傍聴について、手話通訳者・要約筆記者を派遣します。	議会事務局 議事室	●傍聴への派遣申込 0件
⑤ 選挙時の投票本部に手話通訳者を配置し、必要に応じて投票所へ派遣します。	選挙管理委員会事務局	●平成30年度は選挙執行なし
⑥ 手話通訳、要約筆記、点訳、音訳など、障害特性に応じた意思疎通支援に関する理解促進のため、啓発を進めます。	障害福祉室	●手話講習会を実施(ささゆり園指定管理事業) ●要約筆記講習会を実施(ささゆり園、社会福祉協議会ボランティアセンター、障害福祉室の3者で共催)
達成状況		
○		手話通訳者・要約筆記者の派遣等を適宜行った。

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

(5) 災害に強いまちづくりの推進

1. 大規模災害時の網羅的な安否確認を行う体制づくり

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
① 自治会やマンション管理組合による安否確認分担表の作成・更新を進めます。	市民安全政策室	●地区防災委員会を通じて、自治会やマンション管理組合に対し、安否確認の重要性を説明し、安否確認分担表の作成・更新を実施
② 全市一斉総合防災訓練等により、実効的な安否確認体制の構築を進めます。	市民安全政策室	●黄色いハンカチ作戦の周知や、地区防災委員会での安否確認訓練を実施
③ 重度障害者や独居高齢者などを対象とした「要安否確認者名簿」を定期的に更新し、災害時の安否確認に備えます。	市民安全政策室	●要安否確認者名簿の更新と保管を実施
④ 重度障害者や要介護者を対象とした「避難行動要支援者名簿」を定期的に更新し、民生委員・児童委員、箕面市社会福祉協議会等による日頃からの見守り体制を強化します。	市民安全政策室 健康福祉政策室	●避難行動要支援者を年 1 回、乳幼児については年 3 回更新、提供を実施 民生委員フォローアップ研修にて、避難行動要支援者名簿の活用についての説明を実施
⑤ 地域コミュニティによる地域防災力の向上のため、自治会への加入の重要性について、さらなる周知を進めます。	市民サービス政策室	●加入促進チラシを用いた転入者への周知を実施 ●年度末に「自治会加入カウンター」を設置し周知を実施
達成状況	達成状況	
○	各自治回答において安否確認体制が構築され、全市一斉総合防災訓練において訓練を実施した、	

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

2. 災害時に、必要な支援を継続的に行う体制づくり

実施内容	担当課室	平成30年度 実施状況
① 継続的に福祉的・医療的ケアがなければ生命維持に支障をきたすかたを対象とした「要継続支援者名簿」及び「個別支援計画」について、必要に応じて更新し、個別状況をふまえた支援体制の構築を進めます。	健康福祉政策室 障害福祉室 高齢福祉室 地域包括ケア室	●要継続支援者名簿を更新 ●個別支援計画作成にあたり、より効果的な手法について、関係各課・室で検討を実施
② 災害時に、対象者の個別状況に応じた支援を行うために、行政・家庭・地域・事業者等の連携を図り、支援体制の充実を図ります	障害福祉室	●障害者関係団体と災害時の対応について情報共有を図った。
	高齢福祉室	●地域の関係者と日頃から連携するとともに、事業者と災害時対応について情報共有している。
	地域包括ケア室	●認知症初期集中支援等を通じた地域連携を推進。 ●自立支援協議会で支援機関との関係構築。
③ 福祉避難所となる事業者と、協定の締結や運営方法について協議を進めるとともに、訓練を通じ、連携強化に努めます。	障害福祉室 高齢福祉室	●全市一斉総合防災訓練において、福祉避難所となる施設と伝達訓練を実施 ●福祉避難所と協定書を締結した。
達成状況		
△		支援体制の構築、福祉避難所のあり方についてさらなる検討が必要。

3. 「災害時要援護者」への対応を盛り込んだ防災訓練等の実施

実施内容	担当課室	平成30年度 実施状況
① 全市一斉総合防災訓練等により、市役所・地区防災委員会・福祉避難所・指定管理施設等において、障害者・高齢者等の安否確認・避難支援等を盛り込んだ訓練を進めます。	市民安全政策室	●障害者・高齢者等の安否確認、避難者支援等の状況付与を盛り込んだシミュレーション訓練を実施
② 地区防災委員会の訓練等において、障害者・高齢者等への配慮を盛り込んだ、避難所運営の検討を進めます。	市民安全政策室	●避難所運営ゲーム(HUG)や全市一斉総合防災訓練を通じて、各地区防災委員会において、避難所運営時に要配慮者が避難する部屋の設置を想定する等に加え、要安否確認者名簿を用いた安否確認体制の再確認を実施
達成状況		
○		防災訓練等の取り組みにより、市職員の災害対応力の向上及び市民、関係機関の防災意識の啓発を図った。 要配慮者を考慮した避難所運営の検討を進めた。

第5期箕面市障害福祉計画・第1期箕面市障害児福祉計画での各行動目標における実施状況

4. 情報伝達の手法の検討

実施内容	担当課室	平成 30 年度 実施状況
突然の集中豪雨等の際に、避難指示（緊急）・避難勧告・避難準備・高齢者等避難開始等の情報を緊急に伝える必要が生じた場合に備えて、聴覚障害者への情報伝達の手法を検討します。	市民安全政策室	●市のホームページ、市民安全メール、ツイッター、ラインなど聴覚障害者でも入手可能な手法での緊急情報の伝達を実施
	障害福祉室	●災害時の防災情報の提供体制について検討
達成状況		
△	情報の伝達手法のさらなる充実とその利用に向けた周知が必要。	